

第55代会長 澤邑 重夫

第55代幹事 古知屋光洋



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2015年2月19日(木) 第2662回例会 天候:晴れ 司会:梅田弘人副幹事 No. 31

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱 「それでこそロータリー」「早春賦」
- ◇3分間スピーチ [吉田恵子君]
- ◇会長挨拶
- ◇幹事報告
- ◇卓話「ロータリーにおけるR財団の占める立場」 柚木裕子様 (地区補助金推進副委員長・かながわ湘南RC)

◎ゲスト・ビジター紹介

柚木裕子様 (地区補助金推進委員会副委員長・かながわ湘南RC) 脇 吉昭様 (茅ヶ崎湘南RC)

◎<新企画> 3分間スピーチ 吉田恵子会員

◎会報着 松本東・鎌倉中央・寒川・綾瀬

◎委員会報告

職業奉仕 [大箭会員]: 2/17 職場見学の報告

社会奉仕 [西山会員]: 2/22 ロータリーデーの確認

地区大会実行委員会 [加藤会員]: 例会後に打合せ

◎幹事報告

◇ガバナー事務所より

*次年度クラブ指導者に向けた「公共イメージセミナー」開催の案内

・3/17(火) 14:30~17:00 ・アイクロス湘南6階E会議室

*ロータリー財団への寄付金及びカード普及等について(依頼)

*ガバナー月信 No.8(田中賢三ガバナーエレクト「サンディエゴ国際協議会に出席して」P7が掲載)

* (ロータリーの友より) ロータリー親睦活動グループ等に参加している会員についてのアンケート

◇米山記念奨学会より 『ハイライトよねやま』179

◇NPOサポートちがさきより 『さぼせんニュースレター』2015年春号 Vol.43

スマイル報告 加瀬義明会員 ※裏面に続く

脇 吉昭様 (茅ヶ崎湘南RC) ホームクラブより例会場が近いので、これからもよろしくお願い致します。

澤邑重夫君 柚木さん、本日は卓話と地区大会の件、よろしくお願い致します。脇さんようこそ。次年度副幹事、よろしくお願い致します。

古知屋光洋君 柚木さん卓話よろしくお願い致します。脇さんようこそ!

小澤耕一君 柚木さん、よくいらっしゃいました。その節は大変お世話になりました。今日の卓話、楽しく聴かせて頂きます。一昨日は行事を失念、申し訳ありませんでした。「確定申告」に気を持ってゆかれた為です。

田中賢三君 脇様、柚木様、今日もよろしくお願い致します。明後日からインドポリオして来ます。

伊藤留治君 柚木さん卓話お世話になります。茅ヶ崎湘南RC脇様ようこそ。

池上 實君 おなつかしいゲスト・スピーカーの柚木さんようこそ。昔は地区でお世話になりました。過日の職業奉仕委員会の事業所見学、梅酒が美味しく、楽しい催しでした。

加藤 寛君 新年好 (ハオ)。本日は旧暦の正月一日です。柚木さん、大変お世話になっております。

和田幸男君 柚木さん、今日ではよろしくお願い致します。脇さん、お世話になってます。

吉田恵子君 秦野に出席された皆様、おつかれ様でした。柚木様、卓話楽しみにしております。

大箭剛久君 職業奉仕の研修会に御参加の皆様、ありがとうございました。当の委員長が途中で抜けてしまっただけでスミマセン。私の分までタププリ試飲していただいたと思います。私は今度お金を払って味見してみます。

木村信一君 チョコレートありがとうございました。品田さん、入会おめでとうございます。

大森久巳男君 お客様、かながわ湘南RC柚木裕子様、茅ヶ崎湘南RC脇吉昭様、ようこそいらっしゃいました。吉田様、3分間スピーチ楽しみです。



左上) 3分間スピーチの吉田会員 上) 2/17 秦野RC訪問一行 左下) 秦野RC例会で話す澤邑会長



◎出席報告 梅田弘人会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
2/19	2662	43	37+4	31	5	6	85.71%	
2/5	2660	42	36+4	28	3+5	4	77.5%	90.0%

北村公子君 先日の職場見学会お世話になりました。おいしそうなお酒のめずに残念でした。

杉本行廣君 今日は旧暦で1月1日です。柚木様ようこそ。お久しぶりです。よくいらっしゃいました。

西山国男君 柚木さんいらっしゃいませ。卓話宜しく願います。

下里洋一君 柚木さんようこそ。卓話をよろしく。

山口利通君 柚木さん、お久しぶりです。いつまでもお若いですね。本日はよろしくお願い致します。吉田さん、ミネハハのCDありがとうございます。じっくり聞かせていただきます。

程島利通君 柚木さん、いつもお若く元気で何よりです。本日はよろしく。

小林 亨君 スマイルの席に座ったのでスマイル！

富田桂司君 昨日20年ぶりにTDLに行ってきました。娘はデビュー戦でしたが、雨天にてパレードも中止、園内も寒くて外に出ているのもつらい状況でした。それでも初めて見せる、これまでにないよこびようは、プライスレスでした！

出口敬純君 柚木様、脇様、ようこそいらっしゃいました。

杉本剛昭君 柚木様、脇様、ようこそお越し下さいました。吉田さん、3分間スピーチ楽しみにしております。

大木 暁君 柚木様、卓話楽しみにしております。吉田さん、3分間スピーチ頑張ってください。

加瀬義明君 柚木様、本日は卓話をよろしくお願い致します。娘が私の母校の明治大学に入学することになり、親としては感無量です。

[本日25件、37,000円です]

卓話「ロータリーにおけるR財団の占める立場」

柚木裕子様 (地区補助金推進副委員長・かながわ湘南RC)



私は愛知県出身で1972年～73年、江南ロータリークラブから推薦を頂いて、財団奨学生として1年間フランスへ留学させて頂きました。それがロータリーとの最初の出会いです。ですから、私はロータリー財団の受益者です。その後、結婚して鎌倉に住んでおまして、神奈川全体を統括していた259地区から2780地区が離れた

1989年、ロータリー財団をきちんと立て直したいので手伝って欲しいと言われ、この地区と関わるようになりました。当初は財団学友4名で、これから財団奨学生として海外に行く人へのオリエンテーションであるとか、ロータリーというのがどのような団体なのか、といったことを伝える役割をしていました。そうすることで、私たちが送り出した人たちも、今度は送り出す側の役割を引き継いでくれるようになって、ちょっと落ち着いたところで、ガバナー事務所働いて欲しいと言われ、1993年からガバナー事務所仕事させて頂いています。

当時は財団奨学生をはじめ、GSEや交換留学生など、若い世代を海外へ送る手続きなどを中心に行っていました。そして2004年、ロータリーの百年記念事業として、財団学友を中心としたメンバーで新しいクラブを作るという試みで、小澤一彦RI会員増強コーディネーター(当時)のご指導の下、新たに「かながわ湘南クラブ」を立ち上げました。私たちは「ロータリアンになってロータリーに恩返しする」という気持ちでした。そのクラブも去年の12月で創立10周年を迎えました。

ロータリー財団につきまちは、「寄附」「表彰」「どのように使われてきたかの変遷」といった辺りが最も重要ではないかと思えます。

＝寄付の種類＝

- ◆年次寄付 [Annual Giving] 財団の補助金と活動の主な資金源となる。寄付金は、約3年間運用された後に使われる。
- ◆恒久基金 [Permanent Fund] 収益だけを財団プログラムの支援に使う基金である。
- ◆使途指定寄付 [Restricted Giving] 財団への寄付は、金額を問わず、財団プログラムを指定して寄付することができる。ポリオ・プラスがその代表的例である。
- ◆年次基金 [Annual Fund] 寄付金は、3年後に活用される。財団はその間寄付金を投資し、収益により管理運営費と寄付増進費を捻出する。
- ◆シェアシステム [SHARE System] DDF (District Designated Fund 地区財団活動資金)とWF (World Fund 国際財団活動資金)の二つの活動資金に分けられる。その配分は、DDF50%・WF50%。地区はDDFを地区補助金、グローバル補助金、ロータリー平和フェロシップ、ポリオプラスへの寄贈に使用できる。WFは、ポリオプラス、ロータリーセンター、グローバル補助金への上乗せ、パッケージ・グラント、そのほか管理委員会が指定した財団プログラムに充てられる。
＝表彰(他にもありますが割愛させて頂きます)＝
- ◆ベネファクター [Benefactor] \$1000以上を恒久基金に無条件寄付への認証(初回のみ)の表彰
- ◆大口寄付者 一度に\$10,000以上寄付した個人の認証
- ◆メジャー・ドナー [Major Donor] 年次基金・恒久基金・使途指定寄付の累計現金寄付額が\$10,000を超えた個人の認証
- ◆年次寄付 [Annual Giving]
- ◆ポール・ハリス・フェロー \$1000以上～\$2000未満
- ◆マルチプルポールハリスフェロー \$2000以上～\$3000未満=1回目。以降、\$1000毎に回数が増える。(最高8回)
＝ロータリー財団の誕生とプログラムの変遷＝

1917年 ジョージア州アトランタ国際大会
アーチC. クランフ 「世界でよいことをするために」基金の設置を提案。採択される

1928年 『ロータリー財団』と名称を変更

1947年 財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study」(高等教育のためのフェロシップ) このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになる。

1965～66年 「Group Study Exchange (GSE)」(研究グループ交換)「Awards for Technical Training」(技術研修のための補助金)「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation」(ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント」)

1978年 「保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年 全世界でポリオの撲滅をめざす。「ポリオプラス・プログラム」を設置。

1987～88年 初めての平和フォーラムが開催され、これがロータリー平和フェロシップ創設のきっかけとなる。

エンドポリオナウ 現在もなお続き、ロータリー財団の代名詞ともなりつつある、中核的活動となった

2013年 世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル(地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント)を導入。

新しい財団補助金制度：①簡素化 ②地区補助金は地区主導 ③多くの人からの意見を凝縮 ④世界が必要とする6つの重点分野に絞る～6つの重点分野：平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会発展